

令和4年度苦情受付記録

ケース番号	1
発生月	令和4年5月
発生場所	蒲生会大和荘 男子寮
苦情内容	保護者が外泊時に児童の体に痣ができていることを確認した。保護者が児童に確認すると「職員がいないところで上級生に殴られた。弟もやられている。」と話をした。
対応結果	大和荘内にて中央児相職員の立ち会いの下、大和荘職員から謝罪と説明を行う。保護者から叱責はあったものの、再発防止策にある程度のご理解をいただいた。再発防止については、より一層職員の見回りを強化し、中央児相による兄弟への定期面会の頻度を増やし、児童の悩みや相談を事前に察知する体制を作ることとなった。

ケース番号	2
発生月	令和4年5月
発生場所	蒲生会大和荘 女子寮
苦情内容	愛知県社会福祉協議会運営適正化委員会事務局より「児童が施設で職員から叩かれたり、言葉の暴力を受けている。職員が気に入っている子だけが誕生日プレゼントをもらえる。また保護者が面会に行った時に、職員から不審者のように扱われた。」という内容の報告がある。
対応結果	保護者が言っている様な施設内虐待につながる内容は無い。但し過去に職員（既に退職をしている方）から児童にプレゼントを贈っているということはあった様なので、再度職員会議の時に施設長から児童に個人的な物の受け渡しはしてはいけないということを伝える。